

**保育所保育士・幼稚園・認定こども園・
小学校・義務教育学校教員等研修会（第2回）アンケートのまとめ**

1 目 的	保育活動の参観、意見交換、講義を通して、発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育及び学校教育の充実を図る
2 主 催	宗像市教育委員会（教育子ども部 子ども育成課）
3 期 日	令和3年6月30日（水）
4 会 場	福岡教育大学附属幼稚園
5 対象者	小学校・義務教育学校教諭等（低学年担任、生活科担当等） 保育所・幼稚園・認定こども園・届出保育施設職員（採用後3年未満）

～アンケート回答者：32人～

1. 保育参観に参加してよかったですか。

4：とても・・・31人 3：まあまあ・・・1人
2：あまり・・・0人 1：全く・・・0人

2. 今回の保育参観について、感想をお書きください。

（印象に残ったことや今後に活かしたいことなど、自由にご記入ください。）

○ 保育所・幼稚園・認定こども園・届出保育施設の回答

- ・「聞きましょう、お話ししましょう」などの子ども達が発表する機会を設けるというのは、子ども達の興味関心、伝えたい気持ち、認められる満足感を得られるいい活動であり、園に戻って真似したいと思った。
- ・ただ遊ぶだけでなく「聞きましょう、お話ししましょう」の時間で子ども達が遊んだことをおともだちに簡潔に話す場があることで、遊びが学びになると思った。
- ・子ども一人一人が伸び伸びいきいきと自分のしたい遊びに夢中になって遊んでいた
- ・私たちが掲示したものを作るのではなく、子どもの意見を取り入れ、制作にすることを参考にしたい
- ・たくさん自然に触れているからこそ保育室の壁画がいきいきとして素敵だった
- ・子ども達の声を拾い、日々子ども達と遊びながらも発展をさせているのがすごく伝わってきた。今日学んだことを園の先生や子どもたちに伝えていき、よりよい保育を目指していきたいと思った
- ・子どもがしたいと思っていることは何かを考え、子ども達が言っている言葉を拾い、次につなげることが大切だと気づけた
- ・言っていたことを実行し、子ども達が来たいと思えるような園を作ることで子ども達も何をしたいか考え、行動に移すことができるのではないかなと思った
- ・全体で取り組んでいる時の言葉も拾いつつ自分の言葉でみんなに伝わる喜びが感じられるような言葉かけをしていきたい
- ・集団生活に早く慣れさせないといけなさと焦る気持ちが強かったので、保育自体が楽しめていなかった。個人個人を自分の目で見ていきたいと思った
- ・子どもの興味があることで溢れる環境設定が印象的だった
- ・子どもの発言を拾い、安心感のあるクラスの雰囲気、そこから発展する遊びが印象的だった
- ・他の園を見るのは初めてだったが、子ども達や先生方が明るく伸び伸びしているなと感じた。園庭には自然がいっぱいで、裸足で駆け回る姿、砂場で感触遊びを楽しむ姿など、様々な子ども達を見ることができて、見ている方も楽しかった
- ・子ども達が話をする姿、友達の話を聞く姿が良く見られ、落ち着くときと遊ぶときの切り替えがとてもいいと思った。保育環境もとても落ち着いていて、すごく居心地のいい幼稚園だと感じた
- ・保育環境、先生の声掛け、促し方など大変勉強になった。園庭での遊びの環境は、子ども達が自発的に考え、自然の中と一体化した遊びが展開されていて素晴らしかった。ダイナミックに遊べるものなど、年齢に関係なく子どもが自分で選んで遊べる環境だった
- ・振り返りのところで、子ども達が考えて伝え、子ども達に疑問や問題を解決させるという先生の声掛け、見守り方、促し方がまさに子ども主体の保育だと感じた
- ・保育園と通じるものがあり、やはり子ども達の成長の過程にとって大事なことや目標は同じであると感じた
- ・大きな声で子ども達に指示するのではなく、さりげない声掛けや他に興味を持ち動く子ども達に対しても行為や気持ちに寄り添った関わり方をしていた
- ・遊びのクオリティが高いのもあり、子ども達が心から遊びを楽しんでいると思った。

○ 小学校の回答

- ・教材を工夫していると感じた。たくさんの教材や仕掛けがあり、子ども達が遊びながら学ぶことができると感じた
- ・小学校の「授業」とは異なり、遊びの中でいろいろなことを体験することで学んでいく姿を初めて見て、無理なく繋いでいながら小学校の学習をしていくことの難しさを感じた
- ・保育参観では、子ども達が遊びに浸っている姿が見られて、小学校の生活には少ない姿だと思った。生活科や体育、図工、休み時間を子ども達が楽しみにしているのは、このような経験が繋がっているのだと思った
- ・附属幼稚園の先生方の子ども達への働きかけ（教材、単元、声掛け等）が子ども達に遊びを通して届いているのが分かった
- ・何色と何色を混ぜたらどんな色になるのか確かめていて、小学校 1, 2 年生の生活課や図工の学習に活かされている場面だと思った。またうた遊びを通して言葉の量を増やしていた。
- ・子ども達の気づきを深めるためにたくさんの環境構成を工夫していることに驚いた
- ・小学校ではゼロから教えて大変というイメージが強かったが、保育園や幼稚園でのたくさんの学び・体験を積んできた子ども達がよりいきいきと小学校生活を過ごしていけるよう教材づくりはもちろん日々のかかわり方も工夫していこうと思った
- ・小学校入学前の子どもたちがいかに伸び伸びと遊びを通して学びを深めているかを知ることができた
- ・子ども達がいきいきと楽しそうに遊ぶ姿が印象的だった。けれど、ただ遊ぶだけでなく、その活動には狙いがあり、その活動での気づきを振り返る指導をしていることに感心した
- ・子どもの好奇心を持たせる環境づくりがとても大切なことが分かった
- ・子ども達が自ら遊びを工夫し、遊びを生み出して楽しんでいる姿が印象的だった
- ・ただ遊んで楽しかったで終わりではなく、振り返りの時間を取り、クラスで楽しかったことを共感しあう時間を設けており参考になった
- ・様々な遊びにじっくりと向き合える場があり、そこからの気づき、広がり大切にしていること、子ども達のいきいきとした様子がとても心地よく感じた。
- ・振り返りの場では、経験・発見の共有から互いの良さを感じたり、明日への遊びへ繋がったりということが自然な形で働きかけられていたので、とても参考になった
- ・遊び（活動）を通して、子どもが主体的に学んでいく姿を見ることができた
- ・子どもの気づきの質を高めていくために対話を通して保育をしている姿が参考になった
- ・フラフープを用いて自らのパーソナルスペースを意識させながらも工作によって出てくるごみをスムーズに集め捨てさせていたのは勉強になった
- ・振り返りの場で、視覚的な具体物を用いたことで子ども達も発言しやすい雰囲気になっていた
- ・幼児教育においても言語活動に取り組んでいることや、遊びの中で多くのことを学んでいることなどを参観することで知ることができた
- ・スタートカリキュラムや接続カリキュラムを考えていく中で、年長児だけでなく 3 歳児の様子を見ることができ、多くのことを学ぶことができた

3. 今後、学びたいことや要望についてお書きください。

○ 保育所・幼稚園・認定こども園の回答

- ・今回のように他園を見学できると嬉しい。また、小学校の先生方と今困っていることや疑問・質問などを話せる場があると参加したいと思う
- ・気になる子に対しての援助の仕方や、その子と他の子達との関わり方など、色々な先生の話を知りたい
- ・プロジェクト保育の記録やカンファレンスの仕方など知りたい
- ・3 歳児の違う 1 日を見たい
- ・言葉の練習、相手の気持ちに気づける言葉かけについて
- ・給食での苦手な食べ物が出た時の対応の仕方
- ・子ども同士でのケンカの仲裁の仕方
- ・子ども一人一人と密に関わる保育の進め方について
- ・保育環境の工夫や遊びについて詳しく知りたい
- ・異年齢保育の方法について行っているほかの園を見学したい
- ・保護者との関係について
- ・子ども達が主体的になって遊べる環境づくりの過程を学びたい

○ 小学校の回答

- ・評価について
- ・ICT の活用事例について
- ・スタートカリキュラムの具体例について
- ・幼稚園での特別な配慮が必要な子への関わり方について
- ・保育園・幼稚園の先生方ともっと意見を交わしたい